

# ERE information

Vol. 6 2004年9月1日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 03 3267 - 4819

## Contents

---

---

- ▶一橋大学政策大学院 ( 正式名称 : 国際・公共政策大学院/認可申請中 ) ・入学選抜試験に『 E R E 』導入予定。
  - ▶『 E R E / E R E ミクロ・マクロ 』活用事例
  - ▶第6回 E R E 試験結果
  - ▶第1回大学対抗戦で早稲田大学・新潟大学が同点優勝  
～ 4 大学12チームの経済学サークル有志が激突
  - ▶『 E R E / E R E ミクロ・マクロ 』 S ランク者
  - ▶ E R E : 特別インタビュー  
～ E R E の利用について : 土田大介さん ( 大阪経済大学経済学部地域政策学科3 年生 )
  - ▶特別寄稿 : 就職活動を終えて : 田中 誓さん ( 一橋大学大学院経済学研究科 )
  - ▶事務局からのご連絡
- 
- 

## ▶一橋大学政策大学院 ( 正式名称 : 国際・公共政策大学院/認可申請中 ) ・ 入学選抜試験に E R E 導入予定

---

---

現在、設立認可申請中の一橋大学政策大学院 ( 正式名称 : 国際・公共政策大学院 ) では、入学選抜試験に E R E が導入される予定です。導入が予定されているコース・プログラムは、開設予定の 公共法政プログラム、 グローバル・ガバナンスプログラム、 公共経済プログラム、 アジア公共政策プログラム、のうち 公共経済プログラムで、( a ) 新卒者の場合、第1次選抜の筆記試験については『 E R E ( 経済学検定試験 ) 』が基準に達している場合には免除される、( b ) 社会人の場合、第1次選抜において研究計画書の提出に加え『 E R E ( 経済学検定試験 ) 』の結果を提出することが可能となります。

なお、本大学院の設置については、現在、申請中であり、入学選抜試験は、設置認定後、2005年1月下旬から2月初旬にかけて行われる予定です。詳細につきましては、下記ホームページをご参照ください。

一橋大学政策大学院 <http://www.hit-u.ac.jp/IPP/default.htm>

## ▶ 『E R E / E R E ミクロ・マクロ』活用事例 2004

---

第1回E R E実施時より「受験料を全額負担」とし、学生のスキルアップを全面的に支援・奨励している大学は、立命館大学を先陣として複数の事例があります。また、具体的なランクの取得目標を掲げたE R Eのための対策講座・学習会は、先生方の全面協力のもと、早くから各地の大学で立ち上げていただきました。

大学院入試にE R Eの成績結果を利用決定した小樽商科大学に続き、一橋大学政策大学院でも入学選抜試験においてE R Eの成績結果を利用する予定となっています（1面参照）。

---

### 受験料を全額負担

---

【立命館大学】第1回E R E実施時より大学が受験料を全額負担（2回生以上の経済学部生対象）。エクステンションセンターにて「E R E受験対策講座」を開講。

\*「E R E information Vol.4」

【広島修道大学】大学が受験料を全額負担し受験を奨励。経済科学部/現代経済学科の基礎ゼミナールとその担当教員がE R E受験に積極対応。E R E試験問題をゼミ生と共同で研究しています。

---

### 大学院の入学試験にE R Eを導入

---

【小樽商科大学】第1回E R Eで全国4位にランクインした学生に対して、「大学の名誉を著しく高めた者」として学長表彰。また、2003年7月より、大学院経営管理専攻の入学試験において、従来の専門科目の受験による選考方法に加え、E R E（経済学検定試験）の成績結果をもって専門科目の受験に代えることができることを決定。これにより同専攻の選考方法のうち学力検査は、専門科目の受験による判定、専門科目とE R Eの成績結果を比較のうえ判定、E R Eの成績結果による判定となりました。

\*「E R E information Vol.4」

【一橋大学】一橋大学政策大学院（正式名称：国際・公共政策大学院/認可申請中）の公共経済プログラムでは、入学試験においてE R Eの導入を予定（1面参照）。

---

### 単位認定

---

【近畿地区：国立大学】『E R E / E R E ミクロ・マクロ』を学外履修単位として認定した初の大学。認定単位数は、『E R E』について申請した場合は最大8単位、『E R E ミクロ・マクロ』について申請した場合は最大4単位になります。評価については、Sランクの場合は100点、A<sup>+</sup>は95点、Aは85点、B<sup>+</sup>は75点、Bは65点、C・Dについては不可。

【新潟産業大学】2004年度より、認定科目の単位取得を認めることが正式に決定されました。認定科目とは、経済学部の全履修科目のうち、基礎科目であるミクロ経済学・マクロ経済学を中心に、『E R E』の出題科目である「ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学・金融論・国際経済・統計学・時事経済」の対応を考慮して学部決定されたものです。認定単位数は、1回の受検につき、ランクCの場合は合計10単位以下、ランクB以上の場合は合計20単位以下となっています。この制度は、第6回E R Eの受検者から適用されています。なお、同経済学部では2年生秋以降の受験を奨励、E R E講座を開講しています。

\*「E R E information Vol.5」

---

### 対策講座・学習会

---

【大阪経済大学】「E R E受験対策講座」を春期開講。第6回『E R E ミクロ・マクロ』の受験申込者は52名の実績。今後をにらみ学内試験会場での受験方式を採用した。秋期には答練講

座を追加予定。いっそうの受験成績向上を目指しています。なお、1回生よりの継続受験を求め、卒業時には高スコアを保持させることを目標としています。

【新潟大学】ML（メーリングリスト）での意見交換・討論を活動の拠点とする「E R E Net」は、学生が運営の軸を担うサークル。その情報力・徹底した問題分析は強力で、E R Eに向けた学習会のコマ数は76コマと最大。公務員問題集・過去問を選び抜いた模擬試験（100問）を試験直前に実施しています。\*「E R E information Vol.5」

【明海大学】経済学研究生にはE R E受験を必須とし、経済学の基礎を養うよう指導。また、学内推薦を受け大学院進学を希望する学生に対しては、E R E受験を推奨。なお、経済学部学生に対して、2年終了後、①大学院進学、②公務員希望、③E R E受験、の予定がある学生に対して「上級経済学」の講座が準備されています。

---

### 受験の推奨

---

【東京医科歯科大学】大学院医歯学総合研究科医療経済学教室の川淵ゼミでは、早くから「E R E / E R Eミクロ・マクロ」の試験結果を期末試験の一部に勘案し、受験を奨励している。全体成績100%のうち30%の割合にE R Eの成績を勘案し、評価。

【熊本学園大学】第1回E R Eから経済学サークルの学生が中心となって、複数名で受験を続けています。第5回E R Eで経済学部の学生が成績優秀者にランクイン。学長をはじめとする教授陣の間でも多くの喜びの声が上がり、受験気運がいきいきと高まりを見せました。第6回からエクステンションセンターが取りまとめを開始、申込者は36名に。第7回からは大学が本会場になります。

【熊本壺溪塾学園】公務員受験・大学受験予備校の講師である矢住先生が第6回『E R E』の成績優秀者第2位にランクイン。事前に1,000名に及ぶ生徒に「上位3位以内に入ってみせる」と公言し、見事に実行。学長にもE R Eの有用性を進言。余力のある学生には、受験を推奨したいとしている。また、全国有名大学に進学している塾生OBにも受験を呼びかける意向。第7回E R Eには、大学対抗戦への参加を宣言。\*「E R E information Vol.5」

【福島大学】受験地の変更に伴い、第6回は、経済学部と生協が連携して委託会場として大学を開放して、試験を実施。申込の取りまとめ・試験の運営は生協のスタッフが軸となり、行われました。第7回E R Eからは福島市の本会場を利用。

【武蔵大学】経済学部の教授がゼミ生に呼びかけ、受験を奨励しています。

【関西大学】経済学部事務室のカウンターに受験案内を常備し、ゼミ単位で先生毎（HP参照）に受験を薦めています。生協ではライセンスカレンダーを配布して受験計画をサポートしています。

【桃山学院大学】経済学部の助教授がゼミ生に受験を奨励。第4回『E R Eミクロ・マクロ』の成績優秀者にランクインした学生は学生表彰の対象になりました。

【長崎大学】経済学部と生協が連携して早くから委託会場として大学を試験会場として、試験を実施しています。申込の取りまとめ・試験の運営は生協のスタッフが軸となり行われています。

【長崎県立大学】経済学部の助教授が中心となり受験を推奨、第7回では委託会場で受験予定。

## 第6回 E R E の試験結果

本年度より E R E の試験日程が変更され、その第 1 回目が 2004 年 7 月 4 日（日）に全国の試験会場において同時に実施されました。今回は前回の第 5 回（2004 年 3 月実施）より間がないことが起因してか、リピータの数も少なく受験者数が伸び悩むと同時に、全体的にやや小幅ながら前回は下回る結果となりました。（資料 1～資料 4 参照）

### 《資料 1》成績概要

	E R E	E R E ミクロ・マクロ
応募者数	211名	538名
受験者数	156名	378名
平均点	469.3点	191.9点
標準偏差	119.04点	62.02点
最高得点	750点	380点
最低得点	210点	10点

### 《資料 2 - 1》科目別成績

#### 『E R E ミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	101.6点	90.4点
（前回）	104.1点	92.6点
標準偏差	39.48	34.17
（前回）	37.21	35.48

### 《資料 2 - 2》科目別成績

#### 『E R E』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点	100点
平均点	120.5点	116.7点	59.2点	47.1点	49.7点	32.4点	43.8点
（前回）	124.9点	113.5点	59.4点	50.0点	33.6点	36.8点	49.8点
標準偏差	39.85	36.29	19.37	18.89	18.34	17.76	19.59
（前回）	42.30	42.41	21.95	17.15	16.12	16.64	19.10

### 《資料 3》団体応募状況

E R E		E R E ミクロ・マクロ	
新潟大学	34名	立命館大学	71名
立命館大学	20名	大阪経済大学	58名
慶應義塾大学	11名	早稲田大学	39名
新潟産業大学	10名	熊本学園大学	34名
早稲田大学	9名	慶應義塾大学	24名
大阪経済大学	6名	福島大学	18名
東北大学	5名	神奈川大学	14名
東京大学	5名	久留米大学	13名
京都大学	5名	長崎大学	12名
		広島修道大学	12名
		酪農学園大学	10名

#### 《資料4-1》『E R E』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	得 点	ランク
1	非 公 開	経済学部	鶴岡 秀憲	750点	S
2	東京大学大学院	工学系研究科	橋本 真和	710点	A+
3			村田 樹一	700点	A+
3	東京大学	文科 類	竹原 聖史	700点	A+
3	放送大学	教養学部	谷口 裕亮	700点	A+
6	中央大学	経済学部	小林 恭二	690点	A+
7	高崎経済大学	経済学部	織田 佑一	680点	A+
7	神奈川大学	経済学部	村上 俊男	680点	A+
7	京都大学	経済学部	杉本 貴之	680点	A+
10		非 公 開		650点	A
10	新潟大学	経済学部	柄澤 秀謙	650点	A
10	新潟大学	経済学部	宮内 忍	650点	A
10	みずほ銀行	福岡支店	小宮 秀治	650点	A
14	東北大学大学院	経済学研究科	佐藤 英仁	630点	A
15	東京都庁	中央卸売市場	上原 泰信	620点	A
15			清水 邦敏	620点	A
15	大阪経済大学	経済学部	非 公 開	620点	A

#### 《資料4-2》『E R Eミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	得 点	ランク
1	早稲田大学	政治経済学部	安達 剛	380点	S
2	ニヤクコーポレーション		鈴木 光裕	360点	S
3	早稲田大学	政治経済学部	非 公 開	360点	S
4	慶應義塾大学	経済学部	大関 崇彦	350点	S
4	早稲田大学	政治経済学部	横田 和也	350点	S
4			松室 徹哉	350点	S
7	上智大学	理工学部	高田 淳	340点	S
8	慶應義塾大学	経済学部	山本 真	330点	A+
8	慶應義塾大学	経済学部	渡辺 崇	330点	A+
10	高崎経済大学	経済学部	富澤 健二	320点	A+
10	一橋大学	経済学部	吉川 雄大	320点	A+
10	東京大学大学院	総合文化研究科	西脇 寛	320点	A+
10			山本真由美	320点	A+
14	高崎経済大学	経済学部	小島 崇寛	310点	A+
14	早稲田大学	政治経済学部	宮原 孝行	310点	A+
14	早稲田大学	政治経済学部	佐野 直人	310点	A+
14	下関市立大学	経済学部	渡辺 喜彦	310点	A+

## ▶ 第1回大学対抗戦で早稲田大学・新潟大学が同点優勝

### ～ 4大学12チームの経済学サークル有志が激突

7月4日(日)、第6回『ERE/EREミクロ・マクロ』において、4大学12チームの経済学サークル等有志のみなさんによる大学対抗戦が行われました。

各チーム上位者4名による成績では、早稲田大学政治経済研究会と新潟大学ERENetレッドの2チームが総合点1,340点で同点首位となり、優勝を分け合いました。3位には、慶應義塾大学Yoshino Cruiseのみなさんが入りました。対抗戦の個人部門では、新潟大学ERENetレッド(経済学部)の坂爪大慈さんが390点とトップ(ERE全国順位21位)、早稲田大学政治経済研究会(政治経済学部)の安達剛さんが380点で2位(EREミクロ・マクロ全国順位1位)の成績を収めました。

順位	チーム名	ミクロ	マクロ	合計得点	平均点
優勝	早稲田大学 政治経済研究会	670点	670点	1,340点	335.0点
優勝	新潟大学 ERENet レッド	700点	640点	1,340点	335.0点
第3位	慶應義塾大学 Yoshino Cruise	590点	640点	1,230点	307.5点

第2回大学対抗戦の実施に向けて、より広く全国大学サークルの参加を募ります。予備校・専門学校のみなさんからの参加もお待ちしています。次回からは協賛各社から上位チーム・個人賞に対して多数の副賞をご提供いただきます。対抗戦の成績は、『ERE/EREミクロ・マクロ』の「ミクロ経済学・マクロ経済学」の2科目(上位4名の成績)で競います。

### 東洋大学経済学部で非常勤講師を募集中

現在、東洋大学経済学部では演習科目の非常勤講師を募集しています。応募資格は以下の通りですが、修士課程修了者(35歳以下)の応募資格要件では、「ERE/EREミクロ・マクロ(経済学検定試験)」Aランク以上のスコア所持が求められています。詳細な募集要項については、直接、東洋大学にお問い合わせください。

#### 【応募資格】

以下の または の要件を満たす方

学歴：博士課程3年以上(40歳以下)

業績：論文2(修士論文1+査読付き論文1)ないし論文3(修士論文1+刊行された論文2)

教歴：1年以上(専修学校、各種学校講師または大学でのティーチング・アシスタント)

学歴：修士課程修了(35歳以下)

業績：論文1(修士論文1)で「ERE/EREミクロ・マクロ(経済学検定試験)」Aランク以上のスコア保持者

教歴：1年以上(専修学校、各種学校講師または大学でのティーチング・アシスタント)

<採用予定日> 平成17年4月1日

<応募締切> 平成16年10月29日(金)17時

<問い合わせ先>

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学経済学部研究室事務室

電話：03-3945-7411(10:00~13:00, 14:00~16:00)

URL：<http://www.toyo.ac.jp/saiyou/index.html>

▶ 『ERE/EREミクロ・マクロ』Sランク者(学校名等は受験当時。敬称略)

【第1回ERE】

学校名等	学部等	氏名	東北大学	経済学部	萩原 泰斗
東京大学	経済学部	川森 智彦	慶應義塾大学	経済学部	内山 明夫
慶應義塾大学	経済学部	辰巳 俊介	同志社大学大学院	総合政策科学研究所	松岡 孝英
東京リーガルマインド	公務員部	阿比留健次	衆議院事務局		外山 大蔵
小樽商科大学	商学部	菅原 晃樹	横浜国立大学	経済学部	桜井 洋人
東京大学大学院	工学系研究科	有元 克行	学習院大学	経済学部	古川 一

【第4回ERE】

一橋大学大学院	経済学研究科	釣 雅雄	一橋大学大学院	経済学研究科	品田 雄志
一橋大学	経済学部	本多 靖志	東京大学	経済学部	門倉 洋平
河井塾ライセンススクール	池袋校	堀内 法明	東京都庁		野口 悟
慶應義塾大学	経済学部	本間 裕貴	ゼロワン公務員ゼミナール	長崎校	三宅 英雄

【EREミクロ・マクロ】

京都大学	総合人間学部	川元 康一	京都大学	経済学部	豊崎 千秋
------	--------	-------	------	------	-------

【第2回ERE】

			大原簿記学校	会計士講座教務部	大石晃一郎
国際協力銀行	審査部	今井 和幸			吉沢 公人
内閣府	景気判断総括	加賀林陽介	北杜学園	企画部	鈴木 浩二
慶應義塾大学	経済学部	田中 誓	大阪府立大学	経済学部	坪井 昭
ゼロワン公務員ゼミナール	長崎校	三宅 英雄	埼玉大学	経済学部	古澤 将士
京都大学	総合人間学部	川元 康一	早稲田大学	政治経済学部	新藤哲太郎

【第5回ERE】

横浜国立大学	経済学部	星川 隼也			天神雄一郎
早稲田大学	政治経済学部	堀口 岳史	熊本壺溪塾学院	大学受験科・公務員専攻科	矢住 勝大
日本銀行	金沢支店	大岡 勝美	京都大学大学院	農学研究科	山口 道利
京都大学	経済学部	松本 典久	ゼロワン公務員ゼミナール	長崎校	三宅 英雄
慶應義塾大学	経済学部	熊崎 貴之			滝沢 仁
同志社大学	商学部	赤井 啓人			落合 宏
慶應義塾大学大学院	経済学研究科	三宅 建史	京都大学大学院	工学研究科	森 広器

【第3回ERE】

【EREミクロ・マクロ】

南山大学	経済学部	鈴木 雅貴	東京大学	教養学部・文科2類	高中 佳人
慶應義塾大学	経済学部	田中 誓	早稲田大学	法学部	依田 翼
公正取引委員会	経済調査課	深町 正徳	早稲田大学	政治経済学部	安達 剛
ゼロワン公務員ゼミナール	長崎校	三宅 英雄			松室 徹哉
早稲田大学	政治経済学部	堀口 岳史	神戸大学	経済学部	吉松 正秀
東京工業大学	工学部	川田 亮平	防衛庁	海上幕僚監部	岩田 学
中央青山監査法人	大阪事務局	川合 力	早稲田大学	政治経済学部	橋本 吉生
一橋大学大学院	経済学研究科	井上 綾子			辻村 啓
早稲田大学	政治経済学部	山根 洋平	神戸大学	経済学部	鈴木 崇史

## ERE：特別インタビュー

### EREの利用について

土田大介さん（大阪経済大学経済学部地域政策学科3回生）

大阪経済大学経済学部では2004年4月より、公務員志望等の学生に対してEREを利用し、経済学がわかるように、EREの結果が就職活動でPRできるように、志望公務員試験に合格するように、の3つの目的を掲げ、きめ細かいカリキュラムのもと熱心な指導が行われています。今回、その学生の1人である3回生の土田大介さんに（アンケート形式にて）お話しをお伺いいたしました。



\* \* \*

#### Q1．受験回数・動機について

これまでのERE受験回数は2回です。1回目のERE受験は1回生の秋学期。入学当初より受講していた公務員講座で時事問題を勉強していたこともあって、その力を試してみようと思ったのがきっかけです。しかし、このときはミクロ・マクロなど専門的な勉強をほとんどやっていたなかったので、常識的な問題しか解けず、スコアは300点（1000点満点）でした。このとき感じたのは、自分が持っている知識はかなり表面的だったということです。たとえば、失業率の数値は知っているけれども、それが経済学的にどのような意味を持つのか、失業問題に対してどのような政策が必要か、ということは分からない。これを克服するため、2回生ではミクロ・マクロの講義や公務員受験講座（専門科目）を受講しました。その結果、ミクロ経済学ではグラフを用いて計算(微分)の意味を理解することを教わって以来、苦手意識も解消されてきました。2回目のERE受験は3回生の春学期。このときは『EREミクロ・マクロ』を受験しました。結果はまだ分かりませんが、以前に比べ消費者の最適行動や企業の利潤最大化、マクロで言えば国民所得決定やIS-LM分析など基礎的な問題は確実にできるようになりました。しかし、経済成長論やインフレーションと失業など、まだ勉強できていない単元があるので今後はそれを克服していきたいと考えています。それから、まだ知らない専門用語が問題に出てくるのでこれからは幅広い分野の勉強が必要だと感じています。

#### Q2．受験した感想について

設問の意味すら分からなかった1回目の受験に比べ、2回目はだいたいが取り組めるようになってきました。これは経済学の勉強にも通じることだと思いますが、勉強を始めて間もない頃は自分のしている勉強が点数に結びつくという実感はあまりありませんでした。しかし、最近になってようやく勉強量に比例して点数が採れると思えるようになりました。勉強量と点数の関係は必ずしも常に一定ではないのですね。

#### Q3．経済学で「得意とする分野」、「興味のある分野」、「苦手とする分野」について

興味のある分野は地域経済学です。特に地域単位の失業問題に関心があります。僕の所属学

科は地域政策学科なので、ゼミでも自治体問題や地域経済に関する勉強をしています。大阪の失業率回復が、首都圏に比べ著しく悪いという記事を新聞でもよく目にしますが、これについて考えていくのが僕の大学4年間の目標です。

#### Q4．日頃の学習方法と受験対策・今後の受験計画について

学習は基本的に大学の講義や公務員講座の復習を中心に行っています。心掛けているのは、必ず単元毎に練習問題を解くようにすることです。これをしていかなければ点数に結びつかないと思います。とりわけミクロ経済学では難しい計算が数多く出題されますから、その都度解いておかないとなかなか実力がつきません。他には、時事問題への対策として新聞をじっくり読むようにしています。けっこう今まで知らなかった経済用語とか出てくるのでちょうど良い勉強になっています。

#### Q5．卒業後の目標・進路予定・取得したい資格

来年、国家 種の公務員試験を受験する予定です。2回生の時にインターンシップで守口市役所へ行ったのですが、そのときお世話になった職員の方の働く姿が、僕がそれまで漠然と抱いていた職業像とびたりと一致し、以前にも増して公務員への志望は強くなりました。また、2回生の冬に官庁説明会に参加したとき、近畿経済産業局における職務内容を聞いて第一志望に決めました。近畿における中小企業の事業支援や雇用問題に関わる仕事をしたいと思っています。

#### Q6．経済学・E R E検定を私はこう活用したい

僕の目標は公務員試験受験ですが、E R Eの問題は、公務員試験の専門科目と問題形式・レベルともほぼ同じなので活用しています。また、E R E対策で勉強している間にだんだん経済学の考え方が理解できるようになってきたと感じています。

#### 最後に、学友への呼びかけ・後続する受験者へのメッセージ

僕の場合、入学当初より大学の先生や就職支援センターへ相談に行き、E R Eや公務員講座のことなどを教えて頂きました。早い段階で具体的な目標をたてることができたのが結果的に良かったと思います。勉強法については、はじめのうちは高校の政経の教科書や資料集に目を通してみるのも良いと思います。知っているはずと思い込んでいたことが意外と忘れていたりしていました。E R E受験に必須の微積分についても、高校の教科書がちょうど良いと思います。教科書には多くの練習問題がついていますし。最後に、僕は大学卒業まであと2回はE R Eにチャレンジするつもりでがんばりたいと思います。

\* \* \*

今回、『特別インタビュー』と題し、主にどのようにE R Eを利用しているのか、大阪経済大学経済学部の土田大介さんにお話しをお伺いしました。過去2回受験され確実な手ごたえを感じつつある土田さんですが、あと2回受験予定があるとのこと。3回目、4回目は実力が伴い満足が得られる結果がでることを感じさせるほど、前向きで熱心である土田さんでした。

(2004年8月8日記)

## 就職活動を終えて

田中 誓さん（一橋大学大学院経済学研究科）

慶應義塾大学経済学部在学中に第1～第3回EREを受験された田中誓さんですが、その後、一橋大学大学院経済学研究科に進まれ、今春、就職活動を終えられ、現在の就職状況・EREの結果の利用方法等について、メッセージが届きましたのでご紹介いたします。

### 悲惨な就職状況

私が一橋大学大学院に入学し最初に驚いたことは、「悲惨な就職状況」でした。ある程度の厳しさは予想していましたが、想像以上のものでした。たとえば、先輩方においては、かなりの数の企業にエントリーシートの段階で落とされてしまうという、非常に厳しい現状も目の当たりにしました。中には、4月上旬に大手企業から内定をもらった先輩もいましたが、それは少数派で、大半が就職に苦労しているという印象を受けました。特に、都市銀行・商社などの学部生に人気の高い業界は、厳しいようでした。しかし、文系院生の中でも経済学研究科の院生は、それでもまだ良いほうだったといえます。

### 就職活動のポイント：コミュニケーション能力の有無

前述したように、一部の人は早々と大手企業に内定をもらって就職活動を終わっています。そういう人たちに共通する点は、「非常に勉強が出来る（＝確かな専門性を持っている）」か「コミュニケーション能力に優れている」のどちらかを満たしている人でした。特に、コミュニケーション能力は、就職活動のなかで最も重視されるものと考えます。文系院生はもちろんのこと、学部生にとっても、専門的な職業（投資銀行・調査・資産運用・コンサルティングなど）に興味があり、そのような職種に就きたいと考える人は、「専門性」等を含め「コミュニケーション能力」も養っておく必要があることと思います。

### 就職活動のポイント：確かな専門性

上記の業界で人材を採用する際、学部生に対しては「潜在能力（ポテンシャル）」をみますが、院生に対しては「専門性」をみる企業が多いと思います。投資銀行・調査・資産運用・コンサルティングなどの職種は、今でも大変人気があり、私がインターンシップで行ったところでは、理系院生が大半を占めていました。このような状況で、文系院生が就職活動に成功するためには、コミュニケーション能力だけでなく、専門性も身に付け、自分を差別化しなければいけないと思いました。

経済学部もしくは経済学研究科に属している人が、専門性をアピールするならば、当然、「経済学」になるはずですが、しかし、経済学関連の資格は非常に少なく、EREについてもまだ歴史が浅いためか、今回の就職活動で知っている面接官はあまりいませんでした。しかし、「聞いたことはある」と言う面接官はかなりいました。しかも、その人たちはEREに興味を持ってくれました。「経済学の中で現実に使えるレベルの基礎知識を幅広く学び、その習熟度を測る試験」というようにEREを説明すると、その資格の存在価値というものを相手に分かってもらえたように思えます。

この資格で上位の成績を取得すれば、院生の場合は「自分の専攻分野だけではなく、現実の経済を理論的な側面から見る広範な視点を身につける事が出来た」というように、専攻分野に

偏った人間ではなく色々なことを学ぶ姿勢や幅広い専門性を、学部生の場合は「一生懸命勉強し基礎知識を幅広く身に付けることが出来た」というように、努力する人間であること(=ポテンシャルの高さ)を、それぞれ(コミュニケーション能力をもって)アピールすると効果的だと思います。

### 『ERE』の活用 : 大学院院生の場合

院生は「学部で学ぶ経済学と大学院で学ぶ経済学は全然違うから、学部の経済学に沿っているEREは受ける必要がない」と考える人がいますが、それは間違いだと思います。大学院で学ぶ経済学は、学部で学ぶ経済学を数学的に厳密にするものが多く、急激に難易度が上昇することより、数学をある程度理解してからでないだと確実に行き詰ります。このため、数学の勉強に時間を取られますし、数学的な流れを重視することが多く、経済学の本質的な部分を忘れがちになってしまいます。これでは本末転倒です。また、現在の経済学の論文を読む際には、ミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学の3分野のうちの一つをやればいいのではなく、3分野すべてをある程度理解しないと読むことが困難だったりします。私の専攻分野は、マクロ経済学・計量経済学のためミクロ経済学を忘れかけてきています。大学院に入って、専攻分野に特化しすぎると、他の分野の知識を忘れていってしまいます。このことから「本質的な経済学を思い出す」「自分の専攻分野以外の基礎知識も知る」という目的で、大学院生は『ERE』を受けるべきだと思います。

また、インターンシップをいろいろ経験しましたが、企業で働くうえでは、数学的な厳密さ・難しさよりも、現実の経済現象を理解できるような幅広い基礎知識のほうが役に立つことも多々あり、専攻分野に偏るのではなく、『ERE』を通じて経済学の基礎を再確認すべきだと思います。(専攻分野にもよりますが)

### 『ERE』の活用 : 大学学部生の場合

経済学部生は、「経済学部生としてがんばってきたことの証明」として『ERE』をアピールしていってもらえればいいと思います。確かに、企業での知名度はまだあまり高くはありませんが、逆にそこが面接でのネタに使えますし、この資格の有用度をきちんと説明できれば十分なアピールポイントになるはずです。また、他学部生は、日経新聞を理解するため、また自分の学部の勉強以外にも専門性があることをアピールしていけばいいと思います。

また、公認会計士、公務員受験者にとっても、自分の実力を測る良い指標になると思います。これらの資格の経済学は、いかにスピーディーに問題をこなせるかということが重要だと思いますが、『ERE』はその能力を試すことのできる絶好の試験だと思います。

### 最後に

経済学は、あまり役に立たない学問だといわれます。しかし、『ERE』で出題されるレベルの経済学は、知っておくべきです。確かに、現実の経済はなかなか理論どおりに動きません。しかし、理論とは違うことが生じ、そのようなことが起きた理由を考える際に、理論をきちんと理解していたほうが、より深い思考ができると思います。ここで、重要なことは、理論を鵜呑みにしすぎないことです。このことが分かっているならば、いろいろな視点で経済を捉えることができると思います。そのような深みのある思考を持つためにも、基礎的な経済学は必須ですし、個人の強みにもなり得ると思います。そのスキルを磨くモチベーションを上げるために、『ERE』を有効活用するといいと思います。

## ▶事務局からのご連絡

### 大学対抗戦に、ダイヤモンド社、日本FP協会、金融知力普及協会が協賛

第2回大学対抗戦より、日本評論社に続き、ダイヤモンド社、日本FP協会、金融知力普及協会の各社より協賛企業としてご参加いただきました。協賛各社からは、優勝ならびに準優勝チームに副賞が授与されることとなります。

### 『E R E』実施要綱

実施回	第7回	第8回
試験日	2004年12月5日(日)	2005年7月3日(日)
試験時間	午後1時00分～午後4時00分	午後1時00分～午後4時00分
受験願書 受付期間	2004年9月20日(月)～ 2004年10月22日(金)<消印有効>	2005年4月18日(月)～ 2005年5月20日(金)<消印有効>
受験料	5,250円(税込)	
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/金融論/国際経済/統計学/時事経済	
出題形式	4択択一式/100問,1問10点,1,000点満点	
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明書(学生証・運転免許証・パスポート等)	

### 『E R Eミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第7回	第8回
試験日	2004年12月5日(日)	2005年7月3日(日)
試験時間	午後1時00分～午後2時30分	午後1時00分～午後2時30分
受験願書 受付期間	2004年9月20日(月)～ 2004年10月22日(金)<消印有効>	2005年4月18日(月)～ 2005年5月20日(金)<消印有効>
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学(注)	
受験料	3,150円(税込)	
出題形式	4択択一式/50問,1問10点,500点満点	
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明書(学生証・運転免許証・パスポート等)	

(注) 『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。